

## 河野太郎（衆議院議員）日本テコンドー協会顧問就任

2011年11月27日（日）第28回日本テコンドー協会総会において  
J T A三役（会長・理事長・宗師範）に再任し、人事権を一任された河明生 J T A会長は、  
第22回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会において来賓の河野太郎衆議院議員と会談。  
河明生 J T A会長から日本テコンドー協会顧問への就任を直接依頼し、  
河野太郎議員は、就任を快諾されました。



### 河明生会長談

「河野太郎さんとは、7年程前、外国人政策研究所の理事をしていた頃、出会いました。  
弟子の尾崎圭司が、K - 1 ・ M A Xで活躍していた頃、  
私が尾崎圭司後援会会長就任を依頼し、快諾して頂き、多忙の中、応援にもかけつけてくれました。  
日本武道館のリングサイドに陣取り、大声を上げて応援する熱血漢でもあります。  
－真剣勝負が大好き！  
ということで前回と今回の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会も熱心に観戦していました。」

周知の通り、旧態依然とした中央官庁の問題点を鋭く追求する行政改革派の旗手としての  
河野さんの実力は、他の議員を圧倒しております。  
平成以降、資質はもとより、理念も政策が何一つなく、流行の風任せで国会議員になったり、  
その地位を守るためだけに汲々としている私利私欲の「議員」が多い中、  
「ぶれない政策通」としての信念と手腕は、ダイヤモンドの輝きがあります。  
たとえば、国のエネルギー政策、  
とりわけ自民党歴代政権と経済産業省とが推進してきた電力各社による原子力政策に関する問題点を  
大震災による福島原発事故以前から、  
所属する自民党の派閥領袖や族議員との軋轢を恐れず、堂々の論陣を張り指摘してきたのは、  
河野さんだけといっても過言ではありません。  
マスコミやインターネットを通じた発信力も強力です。  
しかも政界では死語となりつつあるクリーンな政治家です。  
物腰も低く、電車や地下鉄を愛用する庶民派であり、自問党内では最も国民的人気の高い政治家です。

私は予言します。

「10年以内に、河野太郎は、内閣総理大臣になり、行政改革を成し遂げる！」  
と。

龍が天に昇るためには、たくさんの雲が必要です。  
私・河は、個人の資格で、  
河野太郎という龍を天に昇らせる雲の一つとして、微力ながら応援したいと考えております。

弟子の尾崎圭司が、プロ・キックボクシング引退後、故郷の愛する平塚市を活性化するため平塚市議会議員選挙に立候補したいと相談にまいりましたので、  
「河野さんの下で政治を一から修行しなさい」  
と諭し、その旨、河野さんに相談し、  
私設秘書としての採用をお願いしたところ快諾して頂いたことも、あわせて報告いたします」